

学校名:	No. 40 School	地区:	パヤンゴール
校長:	Mr. Bold	所属ホ:	14番ホと15番ホの間
学区(ホ):	14番ホと15番ホ		
生徒数:	2,200人	キャンティ:	964人
教員数:	73人	職員数:	14+4人
校舎数:	1	分校:	なし
教室数:	29+8	1教室当り生徒数:	42-43人
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる
授業時間:	1部:8:00-12:40 (1-⑤, 4-⑥, 7-⑥, 8-⑥, 9-④, 10-③) 2部:13:00-18:00 (2-⑥, 3-⑤, 5-⑦, 6-⑥) 3部:		
施設状況:	・教室不足によりロビーとクロークを教室として転用		



【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	185	210	210	185	255	260	242	248	152	120
クラス/担任数:	5	6	6	5	7	6	6	6	4	3
越境通学者:	27	8	2	1	76	78	72	74	45	36
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数	1,925	1,986	2,001	2,030	2,047
クラス数:	52	52	52	53	54
教員数:	72	73	73	75	75

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
25.4%	45.4%	29.2%	-

準備コース:	21日間、3部の時間帯(17:00-19:00)
入学制限:	所属ホの子どもを優先、申込順、所属ホ以外の子どもを約30人制限、数学の特別クラスが人気がある

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	90%(9割が国立、残りが私立)		

【教員】

教員数:	73人
女性教員:	64人
男性教員:	9人

	有資格	無資格	計
クラス担任:	54		54
教科担任:	9		9
その他:			

2003年度教員増員数:	3人
平均応募倍率:	2-3倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:	28,000Tg(小)、30,000Tg(中・高)		1. 数学	1-①、2-②、3-①、4-①、5-②、6-②、7-②、8-② 9-①、10-①	
学費用途:	特別クラス教員の給与、生徒用教材		2		
備考:	・親が亡くなったり片親の家庭の生徒は学費免除 ・2003年より教室不足のため特別クラス数を減らした		3		

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年設置)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年に3回	【清掃】	・清掃員5名が共用スペースを清掃 ・毎日各シフト終了後に清掃(但し1年生のみは迎えにきた保護者か清掃員) ・教室の清掃用具は保護者負担
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所(2) 市役所(2)	【施設改修等】	・机・椅子の修理やペンキ塗りは毎年実施(状況に応じて) ・予算不足により追加として保護者より資金徴収(年間1人当り1,000-2,000Tg) ・大規模な改修は実施していない(現時点では大規模な改修は必要ない)
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員		
保護者会:	学校全体+各クラス		
ミーティングの頻度:	年に3-4回		

【通学状況】

生徒:	平均5-10分、最大バスで1時間(少数)、車通学の生徒も若干いる
教員:	近隣に居住(90%)、残りが遠くから通学(バスで40分)、採用の際には近隣居住者を優先
通学状況:	-
学区外通学(理由):	18%(数学の特別クラス、教育の質・近隣校)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング: 3ヶ月に2回程度 ・学科・学年別ミーティング: 週に1回(教授法等について) ・シフト終了後か休憩時間、必要な場合には土曜に実施
地域住民・企業による施設利用の有無:
<ul style="list-style-type: none"> ・ホコの住民ミーティング ・企業や会社のスポーツ大会(体育館)

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	
実施主体:		クラス数:	
実施対象:			
時間帯:			
備考:			

施設利用料の徴収:	使用料は徴収していないが、物品でお礼をもらうことはある
-----------	-----------------------------

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・大会参加費、教員への賞品や賞金、コンピュータ、OHP、書籍等が卒業生や保護者から寄贈される ・寄付金(約200万Tgくらい)も受けることがある

他ドナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・日本草の根無償: 男女用家庭科機材 ・ソロス基金: 教員用セミナー実施、情報センター設置(コンピューター・コピー機供与)、毎年300ドル分の書籍寄贈 ・UNICEF: 6歳児教育プログラム「子ども開発プログラム」として机(20)、椅子(40)供与 ・アジア開発銀行: 理科用展示物

【周辺地域状況】

周辺校:	28番校(3分、12番ホコ)、47番校(10分、19番ホコ)	幼稚園:	3	未就学児童:	なし
生活状況:	アパート地域、生活レベルは中くらいである程度安定(公務員・会社員・物売りの割合は同じくらい)	未就学理由:	-		
人口状況:	地方からの移動家族が多く増加傾向、団地に住んでいる親戚に子どもを預けて学校に通わせるケースもある、将来ホコが拡大する予定	治安:	比較的安全		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・教室は過密(1クラス44人)で狭く、3人掛け、中・高校生は特に体が大きいので窮屈 ・教室の中が息苦しい ・2部制なので授業後に補習ができない(土曜に実施) ・建物の老朽化(雨漏り、改修部分の崩れ) ・クロークは教室のフックを使用しているが、数が足りないため服を机の中に入れてたり、服を重ねてかけてたりしている ・教室内の埃がひどく、冬には風邪をひきやすい ・ロビーが混雑しているので、休み時間はあまり教室外へは出ない ・教室内の埃と匂いがひどいので、休み時間は外に出るようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の過密は著しく、特に高校生は体が大きいのでスペースが狭くて大変 ・床が木造で多くの生徒が利用しているため傷みが激しい ・教員1人当りの生徒数が多く、個人に関わるできない ・ロビーを転用している教室では外部の音が授業の妨害になる ・大会等の準備を2部の授業終了後に行っているが、冬は暗くなるので親が反対している
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり使わない、我慢して家に帰る ・汚い 数不足で休憩時間では間に合わない ・ドアがないので友達に見張ってもらって順番に使う ・なるべくきれいに使うので便利な洋式がよい(低学年)、生徒数が多いのでアジア式がよい(高学年)、ドアがあった方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と共用 ・衛生的なのでアジア式がよい(但し洋式の方が便利) ・壁は必要だと思うが予算不足により実施できない
3. 教員室	X	
通学状況:	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・道路を渡るときに事故に遭うことがある ・誰かにさらわれたりしないように注意しながら下校する ・こわいと感じることがある、特に遠くから通学している生徒は男子生徒に送ってもらったりしている ・ストリートチルドレンや酔っ払い等はいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅くなる時には親に迎えにくるよう促している ・保護者ミーティング等で時間割を説明 ・道路に面しているので横断時に交通事故の危険 ・マンホールチルドレンが子どもの靴を取ったりすることがある(調査前日にも教科書等を取られる事件が発生)
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・特別クラスの補習が土曜に行われることもある(必要に応じて) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ室が狭い ・体育館に換気扇がないので息苦しい

学校名:	No. 42 School	地区:	ソングノハイルハン
校長:	Mr. Janchiv	所属ホ:	1番ホ
学区(ホ):	1番・2番ホ		
生徒数:	2,620人	キャパシティ:	920人
教員数:	82人	職員数:	17人
校舎数:	4	分校:	なし
教室数:	26+6	1教室当り生徒数:	40-44人
シフト数:	3部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる
授業時間:	1部:8:00-12:25 (6-⑦, 8-⑦, 10-④, 1-①, 2-③, 3-④, 4-④) 2部:11:00-15:00 (2-②, 3-①) 3部:13:00-17:30 (5-⑦, 7-⑧, 9-④, 1-⑥, 2-②, 3-②, 4-③)		
施設状況:	・ロビーを6教室として転用 ・2部の時間帯に、授業時間が短い小学校低学年の授業を入れ教室を有効活用している		



【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	285	260	261	265	298	284	340	286	165	165
クラス/担任数:	7	7	7	7	7	7	8	7	4	4
越境通学者:	12	7	5	9	11	13	14	8	7	13
退学者数:	-	1	2	4	3	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数	2,105	2,139	2,307	2,354	2,503
クラス数:	60	62	63	63	64
教員数	74	74	80	82	82

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
1.1%	31.2%	56.1%	11.6%

準備コース:	45日間、3部の時間帯
入学制限:	所属ホに関係なく10人ほど断った、優先条件は準備コースの受講者、入学試験は実施していない

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	53.5%
大学進学	90%(半数は国立大学、UB市内)		

【教員】

教員数:	82
女性教員:	73
男性教員:	9

	有資格	無資格	計
クラス担任:	65	0	65
教科担任:	17	0	17
その他:	0		0

2003年度教員増員数:	4人
平均応募倍率:	1倍

【特別クラス】

設置:	なし	1クラス当り生徒数:		設置状況:	
選考方法:		回収状況:		教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:				1	
学費使途:				2	
				3	
備考:	・2-3年以内に設置したいが、具体的な計画はない ・教室不足・過密により条件を満たすことができない			4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2001年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年に2回(あるいは必要に応じて適宜)	【清掃】	
メンバー:	9名: 保護者(1)、教員(6)、生徒(1)、区役所(1)	・清掃員5名が共用スペースを清掃	・教室清掃は1年生以外の2部の生徒
役割:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・1年生はゴミ拾いのみ、保護者が手伝う	・清掃用具は配備されている(洗剤・石鹼は学校負担、雑巾は生徒負担)
保護者会:	学校全体+各クラス	【施設改修等】	
ミーティングの頻度:	-	・保護者から資金の一部を徴収して、教室内の改修(壁や床のペンキ・ガラスの張替え等)を毎年実施	・大規模な改修は、2000年に配管の改修(教育予算600万Tg)

【通学状況】

生徒:	最大徒歩30分
教員:	90%が学校周辺に居住、通学時間は最大バスで1時間
通学状況:	1・2番ホ以外にも3・20番ホで比較的近隣な地域からも通学している
学区外通学(理由):	約4%(学区外であっても最近隣校)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: ・定例ミーティング: 年に4回 ・学科・学年別ミーティング: 1-2週間ごと ・1部と2部の間の時間帯 ・大きめの教室あるいは図書室を利用
地域住民・企業による施設利用の有無: ・ホロの住民ミーティング

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・ほとんどなし ・小さな物資提供(カセットレコーダー等)のみ

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	20人
実施主体:	国会議員による資金援助	クラス数:	1
実施対象:	所属ホロの学校中退者と未就学児童(8~14歳)		
時間帯:	毎日4時間		
備考:	1年間、受講後普通教育に戻る生徒もいる		

施設利用料の徴収:

施設利用料の徴収:	-
-----------	---

他ドナー・NGOによる協力:

・ソロス基金: 英語の教科書(約200冊) ・不明(国際NGO): 生徒用椅子(120)・机(60)の供与
--

【周辺地域状況】

周辺校:	65番校(4-5km)	幼稚園:	1	未就学児童:	20-30人(男女ほぼ同数)
生活状況:	ケル地域(ホロ全体)			未就学理由:	貧困・家庭状況・地方からの移動家族に特に多い
人口状況:	地方からの移動家族による人口増加(特に1番ホロは空地が多いので急増、山の斜面に沿って北側へ急速にケル地域が拡大)			治安:	・悪い(昨年小学生がレイプされた)

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	・1クラス40人 ・狭い(過密) ・机・椅子不足により1つに3-4人掛け ・寒くてコートを着たまま授業を受けることもある ・暗い(特にロビーを転用した教室) ・教室不足により外国語のグループワークができない ・教室内のフック不足、重ねてかけている	・教室の過密により、授業時間内(40分)に生徒1人1人に関わることができない ・生徒数が多く、空気が汚れて息苦しい ・机と椅子の不足(3人掛け) ・教室内のホコリがひどく健康面に悪影響 ・ボイラーのキャパが小さく、寒くて風邪や病気が流行りやすい
2. トイレ	・外にあるので冬は寒くて行けない ・数不足 ・校舎内のトイレも悪臭がひどくて使いたくない ・洋式トイレは汚くなるので、アジア式トイレがよい	・教員用トイレはなし、生徒と共用だがほとんど使わない ・2年前に区役所に申請して設置されたが、それまでは外で用を足す生徒もいた ・扉がなく、柵があるだけなので1人ずつ待って使ったりする ・踏んで汚くすることのないようアジア式トイレがよい ・タンクは上部に設置した方がよい(生徒が壊さないように)
3. 教員室		
通学状況:	・1番・2番・20番ホロから通学 ・同ホロに19・65・38・3・45・12・52番校に通っている友人がいる(42番校が教室不足・教育の質が低いから)	
治安:	・帰宅時、怖いと感じる ・暗い ・酔っ払いや野良犬 ・下校時には鞆を取られないように注意している ・パスが無料で乗せてくれないことがある ・雨で家に帰れない遠方通学者もいる(友だちの家に泊まる)	・大きな道路に面していないので交通事故等はない ・外灯がなく暗くて危ない ・1年生だけ親に出迎えをするように頼んでいる
その他:	・教室の清掃は毎日している	

学校名:	No. 44 School	地区:	ハヤズルフ
校長:	Mr. ENKHBAT	所属ホ:	第16ホ
学区(ホ):	第16ホ(半分)、第19ホ		



生徒数:	2200	キャパシティ:	—	設立年度:	1980
教員数:	80	職員数:	28	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	56
教室数:	34+8	1教室当り生徒数:	45-50人		
ソフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部:8:00-13:00 (2-②, 3-①, 4-④, 7-⑥, 8-⑥, 9-⑤, 10-④) 2部:13:30-18:00 (1-⑤, 2-③, 3-④, 4-②, 5-⑦, 6-⑦) 3部:				
施設状況:	・2部制で運営すれば、標準教室の数は足りている ・ロビーなどを普通教室に転用				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	236	218	201	236	275	268	231	219	171	143
クラス/担任数	5	5	5	6	7	7	6	6	5	4
越境通学者	16	18	12	21	17	19	22	29	21	23
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,100	1,187	1,655	1,964	2,091
クラス数:	40	41	49	53	55
教員数:	52	54	61	70	77

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
0.0%	38.9%	58.8%	2.2%

準備コース:	一ヶ月、春学期に実施
入学制限:	・普通クラスの入学は必ず所属ホの子どもを優先する。 ・所属ホ外の子どもは先着順で受け入れるが、教室不足のため約60人の入学を断った

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	80% (70%が国立大、殆ど市内)		

【教員】

教員数:	80
女性教員:	70
男性教員:	10

	有資格	無資格	計
クラス担任:	56	0	56
教科担任:	24	0	24
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	10人
平均応募倍率:	2倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35人	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	化学クラスのみ30,000Tg(市教育局と委員会の決)		1 音楽	8年 1クラス (5~8年は自動進級、4年に1度の募集)	
学費使途:	特別クラス教員の給与設備		2 化学	8、10年 各1クラス	
備考:	・1年生の数学の特別クラスは120人が試験を受けて37人が合格した		3 英語	2、5~9年 各1クラス	
			4 数学	1~10年 各1クラス	
			5		

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2000年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	・清掃員8名が共用スペースと1~3年生教室を清掃 ・4年生以上の教室清掃は生徒が毎日2回実施 ・教室の清掃用具は生徒の持ち寄り(その他の用具は学校の予算で賄う)
メンバー:	7名:保護者(1)、教員(4)、生徒(1)、区役所(1)	【施設改修等】	・各クラスの改修は保護者が資金を調達し、実施 ・教室外の改修は学校の予算で実施するが、慢性的に不足。企業の寄付を募る。 ・雨の後校舎が沈下するので、区役所に改修を要請したが、それほど大きな問題なので自分達で解決しよう言われた。企業などから資金を調達中。 ・年間30枚ほどの窓ガラスの交換が必要
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員		
保護者会:	学校全体+各クラス		
ミーティングの頻度:	年2回+年4回		

【通学状況】

生徒:	平均通学時間:15分、最大通学時間:90分
教員:	40%は学校の近隣から通勤
通学状況:	第16ホは所属団地によって44番学校か53番学校のどちらかに決められている
学区外通学(理由):	5%(特別クラスなど)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: ・全体ミーティング:1ヶ月に3回、昼休みに実施 ・教科別ミーティング:毎週、授業後に実施 一番大きな教室を利用
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	28
実施主体:	区役所(教育センター)	クラス数:	1
実施対象:	7歳~13歳		
時間帯:	夏期のみ1ヶ月コース		
備考:	終了後所属校の子どもは44番学校に編入する		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・創立記念日や祭りなどに物資援助をもらうことがある(例:TV、テープ、絵、時計など)

他ドナー・NGOによる協力: ・ロータリークラブ(日本):PC4台 ・ADRA、ソロス基金:教員研修

【周辺地域状況】

周辺校:	53番学校(隣400m)、68番学校(1.2km/20分)	幼稚園:	3	未就学児童	不明(第19校のみ、第16校はなし)
生活状況:	第16校---団地、軍人が多く生活レベルは中の下 第19校---ゲル集落、車・乳製品のマーケットで働く人が多い、失業者も多い	未就学理由	マーケットで荷物運びなどをして食費を稼いでいる。殆どが男子。		
人口状況:	第16校は人口変動はあまりないが、第19校は地方からの流入が多く、人口増加激しい。	治安:	マーケットの近くなので、それほどよくない		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1.教室	・3人掛けなのできつい ・3人掛けのはじっこはノートがとりにくい ・教室内にはフックがあったが、コートをかけすぎて落ちてしまった ・冬は寒くて窓が開けられず、教室内の空気が悪い。 ・教室内の人数が多すぎる。いつも何となくざわざわしていて、先生の声が聴き取りにくい ・暗くなると教室の黒板の板書が見えない	・過密で生徒一人一人に目が行き届かない
2.トイレ	・男女共有なので見張りが必要 ・利用人数も多く、汚いので使わないで我慢する。 ・学校にいる間は水分をとらないようにして、のどが渇いても我慢する ・アジア式のトイレの方がいい(どうせ今も洋式便座の上に乗って使用しているから) ・手を洗う場所がない ・ウェットティッシュを使うのはお金持ちの子だけ	・教員用のトイレ1つ。男女共有。 ・教員は80名いるので、教員用トイレはいつも混んでいるのあまり使わない ・生徒用トイレはアジア式の方がいい(洋式の便座は汚いのでどうせ座ることができない) ・教員用トイレは洋式がいい
3.教員室	X	・教員室あり。収容人数は約15人。あまり教員室は利用しない ・授業以外の時間はロビーで過ごしたり、自宅に戻ったり、自宅が近い同僚の家にいたりする ・教科教員はコートなどは教員室に保管するが、担任教員は教室に私物や教材などを保管する
通学状況:	X	X
治安:	・酔っ払い、犬などが怖い。迎えは来ないので友達と帰る ・帰りが暗くなると保護者が迎えにくることもある ・マンホール・チルドレンもいて、ノートやお金をまきあげられたりする。	
その他:		・土曜日にも補習や掃除、作業のために通勤することがある ・ゲル集落から来る子ども達は汚く、手も洗わないため、いつも風邪をひいている ・ゲル集落の保護者はあまり学校に来ないため、教員も家族のことをあまりよく知らないし、保護者も学校のことをよく知らない ・ゲル集落の子どもの方が授業の理解度が遅い(家で勉強を見てもらわないため、教育水準の低い地方から移動してきたため)

学校名:	No. 48 School	地区:	ハヤズルフ
校長:	Mr. Buttur Burbazar	所属和:	第1和
学区(和):	第1和口、第2和口		



生徒数:	3600	キャパシティ:	—	設立年度:	1968
教員数:	90	職員数:	25	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	74
教室数:	31+4	1教室当り生徒数:	50~65人		
シフト数:	3部制の変形	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部: 8:00-12:30 (1-④, 2-①, 3-④, 4-①, 7-②, 8-⑧, 9-⑤, 10-⑤) 2部: 11:30-14:40 (1-④, 2-②, 3-②, 4-③) 3部: 13:00-16:30 (2-②, 3-①, 4-①, 5-④, 6-⑨, 7-⑦) 4部: 15:00-18:30 (2-②, 4-②) 5部: 16:00-19:30 (5-⑤)				
施設状況:	・極端な教室不足のため、空き教室を利用してシフトを組んでいる ・PCなどを転用して教室として使用				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	400	377	345	321	407	466	410	376	237	251
クラス/担任数	8	7	7	7	9	9	9	8	5	5
越境通学者	38	34	31	18	35	45	41	37	54	32
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	2,486	2,666	2,837	3,051	3,231
クラス数:	58	61	63	65	66
教員数:	72	76	80	81	83

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
1.3%	41.8%	52.5%	4.5%

準備コース:	一ヶ月(4月15日開始)
入学制限:	教室不足のため、88人の入学を断った(所属和含)

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	75%
大学進学	100%、市内の国立大学が殆ど		

【教員】

教員数:	90
女性教員:	71
男性教員:	19

	有資格	無資格	計
クラス担任:	74	0	74
教科担任:	16	0	16
その他:	90	0	90

2003年度教員増員数:	10人
平均応募倍率:	5倍以上

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	45人	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	50%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	20,000Tg			1 体育	5年、6年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材			2 美術	7年 1クラス
備考:				3 数学	5年4クラス、2・3・8・9年各2クラス、1・6・7年各3クラス、4・10年各1クラス
				4 外国語(露、英、日、独)	数学の特別クラスのうち、1、6、7年各1クラスと5年2クラスが追加で外国語特別クラスの対象となる
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2001年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年3回	【清掃】	
メンバー:	11名:保護者(2)、教員(2)、生徒(2)、区役所(4)、 教頭(1)	・清掃員12名が共用スペースと1年生教室を清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・2年生以上の教室清掃は生徒が毎日2回実施	
保護者会:	全体+各クラス	・教室の清掃用具は生徒負担(その他の用具は学校の予算で購入)	
ミーティングの頻度:	年4回	【施設改修等】	
		・各教室の修繕は保護者負担、教室外の修繕は学校の予算で実施	
		・保護者の熱意や財政状況によって、教室の状態に差が出る	
		・大規模修繕は市役所予算で配管の交換と屋根の張替えを実施('02&'03)	
		屋根の張替えに5000万Tg申請、実際におりたのは2500万Tg	

【通学状況】

生徒:	最大通学時間:バスで40~60分
教員:	20%が近隣に住んでいる。残りはバス通学(3回乗換えをする教員もいる)
通学状況:	バス通学の生徒も多い
学区外通学(理由):	10%(特別クラス)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

<p>教員ミーティング:</p>
<p>地域住民・企業による施設利用の有無:</p> <p>なし</p>

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	25
実施主体:	イフレセンター	クラス数:	1
実施対象:	12歳～16歳		
時間帯:	15:00-18:00(毎日、4年間のコース)		
備考:	普通教室(1)で実施		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

<p>保護者・地域住民・企業等のサポート:</p> <p>なし</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業生の80%はケル集落居住で貧しく、寄付できない 企業などからの援助もなし
--

<p>他ドナー・NGOによる協力:</p> <ul style="list-style-type: none"> ワールドビジョン: 郊外の学校に対する教室改修(1教室+体育館) 30万Tg

【周辺地域状況】

<p>周辺校: 33番校(500m/5.6分)、97番校(1km/20分)</p>	<p>幼稚園:</p>	<p>未就学児童 第2ホロは多い(特に男子)</p>
<p>生活状況:</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1ホロ---アパート。公務員/定年者。生活レベルは第2ホロより高い 第2ホロ---ケル集落。自営業。貧困家庭多い。ゴミ拾いで生計立てる家庭(6)あり。 	<p>未就学理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧困 ・家計を助けるための労働 	
<p>人口状況:</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1ホロ-人口8000~9000人(5000世帯)、第2ホロ-人口2万人(5200世帯) 地方からの流入で人口増加中(特にケル集落の第2ホロは急激に増加中) 	<p>治安:</p> <p>悪い(ホームレス、酔っ払い、マンホール・チルドレンなど) 小学生は保護者が送り迎えをする事が多い</p>	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
<p>施設状況:</p> <p>1. 教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生のみクローゼットあり(間違が多く、紛失しやすい) 中学以上は教室内にフックがないので、棚に置いたり、袋に入れて床においたりする。 3人掛け、4人掛けのこともある 3人掛けだと字がきれいに書きにくい 空気が悪く、意識を失う生徒がいる 	—	
<p>2. トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> 汚い ・男女別 ・いつも行列ができています きれいに使うよう心がけるので洋式トイレがいい(現存のアジア式トイレは汚い)(4年) トイレは新しいので他の学校よりきれい(8年生) ドアがないので恥ずかしくて入れない 和式はしゃがみにくくて使いにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒用トイレを転用して、現在は教員/職員用トイレあり 便器は4つあるが、ドアが無いので、一人ずつしか使えない 生徒用トイレは維持管理をことを考えたらアジア式の方がいい。生徒は座れる洋式を好むかもしれないが、衛生上よくない 教員用トイレは洋式がいい 	
<p>3. 教員室</p>		<ul style="list-style-type: none"> 教員室2つ(小学校用と中高用) 収容人数が非常に少ないので、あまり使えない ノートチェックなどの作業は家に持って帰り、教材や私物は教室で保管する コートなどは各教室のフックを生徒と共有する
<p>通学状況:</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学時間:平均徒歩10~15分。 遠い生徒はバス通学で30~45分 毎年1クラスで3.4人が学年の途中で転校してくる 		
<p>治安:</p> <ul style="list-style-type: none"> 酔っ払い、マンホール・チルドレンが怖い(マンホール・チルドレンは約10人のグループで女の子もいる) 		<ul style="list-style-type: none"> マンホール・チルドレン、ホームレス、酔っ払いが多いため治安はあまりよくない
<p>その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> クラブ活動の時間がない 外国語の特別クラスは60人でグループワーク不可能 体育の時間に体操着に着替える部屋がない 		<ul style="list-style-type: none"> 現在キャパシティの4倍以上の生徒が通学している 第2ホロではゴミ拾いで生計を立てている6家庭の子供が現在48番学校に通学している 48番学校の選択理由:所属ホロ、優秀な教員、よい特別クラスと安い学費

学校名:	No. 52 School	地区:	ハンウル
校長:	Mr. Batbayar	所属ホ:	1番ホ
学区(ホ):	1番ホと2番ホの半分		
生徒数:	2,155人	キャパシティ:	-
教員数:	68人	職員数:	19人
校舎数:	1	分校:	なし
教室数:	25+1	1教室当り生徒数:	43人
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなしているか?:	いる
授業時間:	1部:8:00-12:45 (6-⑥, 7-⑦, 8-⑦, 9-③, 10-③) 2部:13:00-17:30 (1-④, 2-④, 3-④, 4-⑤, 5-⑥) 3部:		
施設状況:	・教室不足により大工の部屋を教室に転用して使用 ・98年までは所属ホ外部の生徒専用の特別クラスがあったが、教室不足により現在は廃止		



【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	210	188	183	255	253	270	263	254	141	137
クラス/担任数:	5	4	4	6	5	5	6	6	3	3
越境通学者:	25	17	20	23	28	15	21	18	10	16
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数	1,870	1,870	1,981	1,993	2,039
クラス数:	43	43	44	44	46
教員数:	63	63	64	64	66

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
0%	22.9%	75.7%	1.4%

準備コース:	1ヶ月間、3部の時間帯
入学制限:	28人の7歳児を入学制限(8歳児優先)、入学した7歳児は48人

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	65-70%
大学進学	100%(うち70-80%が国立大学)		

【教員】

教員数:	68人
女性教員:	56人
男性教員:	12人

	有資格	無資格	計
クラス担任:	48		48
教科担任:	20		20
その他:			

2003年度教員増員数:	3人
平均応募倍率:	5-6倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35-40人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	70%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:	25,000Tg(小)、30,000Tg(中)、38,000Tg(高)		1. 数学	1-4年②ずつ、5-7年③ずつ、8-②、9-10年①ずつ	
学費使途:	特別クラス教員の給与(35%) 教材(65%)		2. 化学	8-①	
備考:	3割の生徒の学費は免除		3. 英語	1-4年①ずつ、5-10年で①(合同)	
			4. ロシア語	1-①、2-①	
			5		

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年10月設置)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年に2回	【清掃】	
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所(2) 市役所(1)、教育省(1)	・清掃員12名が共有スペース(ロビーやトイレ)を清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は授業終了後に低学年を含めて全員で実施	
保護者会:	学校全体+各クラス	・清掃用具については教室のもののみ一部保護者負担	
ミーティングの頻度:	年に2回	【施設改修等】	
		・教室内の軽微な修理(天井・床・ドア・椅子・机)やペンキ塗りは保護者負担	
		・共有スペースの修理・ペンキ塗リ・ガラス交換、備品交換(電球等)は予算	
		・2002年に配管工事(2,900万Tg)実施、床と屋根の改修(4,200万Tg)を申請中	

【通学状況】

生徒:	平均10-15分、最大バスで20-30分
教員:	40%が学校近隣に居住、残りは遠くから通学(バスで40分から1時間以上)
通学状況:	-
学区外通学(理由):	20%(特別クラスがあるから)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> 全体ミーティング: 必要に応じて2週間に1回程度 学科別・学年別ミーティング: 毎週 活動計画や結果、学期のまとめ等を行う
地域住民・企業による施設利用の有無:
<ul style="list-style-type: none"> ホロの住民ミーティングや選挙会場として 近隣幼稚園の活動(主にホールや体育館)

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	
実施主体:		クラス数:	
実施対象:			
時間帯:			
備考:			

施設利用料の徴収:	していない
-----------	-------

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> 30周年記念の際に寄付金を募り、施設改修(壁ペンキ・天井の剥れ・床タイル張り・黒板・教員室改修)を実施

他ドナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> アジア開発銀行(2002年): 2教室用椅子(80)・机(40)の供与 ロータリークラブ: コンピュータ2台の供与

【周辺地域状況】

周辺校:	18番校(外国語専門)、15番校、75番校(200m、2番ホロ)	幼稚園:	3	未就学児童:	なし
生活状況:	アパート地域(ゲル地域なし)、生活レベルは中レベル(多くが民営工場か自営業)	未就学理由:	但し、地方流入家族で住民登録をしていない子どもの実態が不明瞭		
人口状況:	外部からの移動が増えている、流動的、アパートの建設増加	治安:	<ul style="list-style-type: none"> なるべく冬は早く帰宅させるようにしている 低学年(1-2年生)の親には迎えを頼んでいる 		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> 1クラス45-46人、狭くて3人掛けの時もある グループワークの部屋がないため、休講になることもある 大会の準備や補習のための教室がないため、使っている教室の後ろで静かに作業・学習することもある 2部制で授業が遅く終わるので、授業後に補習ができない(先生には早く帰宅するように言われている) 教室内のフック不足により服を重ねてかけている 休み時間はほとんど教室にいる 	<ul style="list-style-type: none"> 教室の過密が著しく、施設への負担も大きい(雨漏りや床が緩んでいる等) 教室の過密により教員の負担も大きい 教室不足により外国語のグループワークが実施できない 特別クラスの生徒は学費を払っているため、1クラス当り生徒数を抑えて少人数制にしてほしいという要望が親からあがっている 窓ガラスは外部の影響や掃除時に割れることはあるが、わざと割ることはない 	
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 壊れているものもあり、汚いので生徒はあまり使いたがらない(生徒が並んでいることはあまりない) 手や顔を洗う目的で使用することの方が多 きれいであればアジア式・洋式でもどちらでもよい、アジア式の方が汚くなる 	<ul style="list-style-type: none"> 教員用トイレなし、生徒用を利用(授業中か長い休憩時間に使うようにしている) 扉がないので他の人に見張ってもらって使う 人がたくさん使うので洋式より和式が望ましい(教員用は男女別で洋式) 	
3. 教員室	X		
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> 第1ホロから5-10分で通学(最近隣校)、所属ホロ外からはバスで20分程度 クラスでは所属ホロ在住が約6割 同ホロで75番・18番校に通っている友だちがいる 	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> 特に女子は怖いと思う(催涙スプレーを持っている生徒もいる) ゲル地域からの通学はさらに大変 遅くなる時には親に迎えにきてもらうようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> なるべく近くのバス停まで子どもたちを送ったりしている 低学年の親にはなるべく迎えにくるように話している 子どもたちには危ない目に遭わないように注意をしている ホームレスやマンホールチルドレンがいる 	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺には新しいアパートができてきており、生徒数が増加 		

学校名:	No. 61 School	地区:	フンゲルティ
校長:	Mr. MAAMKHUU	所属ホロ:	第12ホロ
学区(ホロ):	第12ホロ		

生徒数:	615	キャパシティ:	180	設立年度:	1975
教員数:	15	職員数:	9	設置学年:	1-5年
校舎数:	2	分校:	なし	クラス数:	15
教室数:		1教室当り生徒数:	40~45人		
シフト数:	3部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いない		
授業時間:	1部:8:00-10:55 (2-③, 4-③) 2部:11:20-14:15 (1-③, 2-③) 3部:14:30-18:40 (5-③)				
施設状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用に建てられた建物を校舎として使用している ・生徒は5年を修了すると、主に57番学校へ転校 ・3部制のため、今年から体育の授業が全く実施できなくなった ・1998年から2001年の間は57番学校とあわせてコンプレックススクールだった(57番学校舎は1-10年生を受け入れ、61番学校舎は1-4年生のみ受け入れていた) 				



【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	125	120	97	128	130	-	-	-	-	-
クラス/担任数	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-
越境通学者	10	9	11	7	15	-	-	-	-	-
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	480	480	495	510	560
クラス数:	14	14	14	14	14
教員数:	14	14	14	14	15

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
4.8%	32.0%	56.0%	7.2%

準備コース:	3ヶ月(3月~)
入学制限:	30人の入学を断り、内18人は所属ホロの生徒。 断った理由:準備コースに通わず母音を理解できない、施設不足

【進級・進学状況】

中学進級	—	高校進級	—
大学進学	—		

【教員】

教員数:	15
女性教員:	14
男性教員:	1

	有資格	無資格	計
クラス担任:	15	0	15
教科担任:	0	0	0
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	2
平均応募倍率:	4-5倍

【特別クラス】

設置:	なし	1クラス当り生徒数:	—	設置状況:	
選考方法:	—	回収状況:	—	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:	—			1	
学費使途:	—			2	
				3	
備考:	来年度から数学、外国語の特別クラスを全学年に設置予定。さらに増設すれば職業訓練もしたい。			4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年春設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年4回	【清掃】	
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(1)、生徒(1)、区役所(1)、校長(1)、教育省(1)、市教育局(2)、卒業生(1)	・清掃員2名が教室を含めて全ての箇所を掃除する	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・清掃用具は学校予算から出しているが、不足気味なので保護者や清掃員からの持ち寄りなどの支援を受けている	
		【施設改修等】	
保護者会:	全体	・100万Tg申請し、60万Tgの予算がおりた→壁のペンキ塗り替え、家具修理、ストープの修理など	
ミーティングの頻度:	年2回	・どうしても保護者からの支援が必要な場合、1人500Tg徴収している	

【通学状況】

生徒:	平均通学時間:10~15分。最大通学時間:徒歩40分
教員:	70%の教員が近隣に居住。一番遠い教員で徒歩40分。
通学状況:	所属の第12ホロからは17番学校、39番学校、57番学校にも行っている。
学区外通学(理由):	5%

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: ・全体ミーティング:年4回 ・学年別ミーティング:毎週、授業後または土日に実施
地域住民・企業による施設利用の有無: なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	去年まで	生徒数:	25人
実施主体:	学校	クラス数:	2
実施対象:	8~15歳の未就学児童、今年は普通クラスに編入済		
時間帯:	13:00-16:00 (2部シフトと同じ時間帯)		
備考:	今年は教室不足で実施できない、		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: 外部からの援助は殆どない

他団体・NGOによる協力: なし

【周辺地域状況】

周辺校:	17番校(30分)、57番校(30分)、39番校	幼稚園:	0	未就学児童:	不明(男子の方が多)
生活状況:	ゲル集落で失業率は90%ちかく(肉体労働やモノを売って生活)	未就学理由:	近くの市場での肉体労働		
人口状況:	地方からの流入が多い	治安:	・事件などはないので、それほど悪くない ・近くに企業などもなく、盗まれるものもない		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	・3人掛けだけだとそれほど狭くない ・1クラス35~45人 ・冬もそんなに寒くない ・柱がじゃままで黒板がよく見えない列がある ・冬はホコリと煙がひどい	・ストーブの煙で教室内がよく見えず、授業が実施できないことがある ・教室があたたまるまでに時間がかかる
2. トイレ	・屋外のトイレ8つ(男女別、ちゃんとしたドア無し) ・使用しているし、特に不足してない ・外のトイレなので、冬はコートを着て使用する ・座れるから洋式の方がいい ・手を洗うところがなく、教室内に手桶とせっけんがある	・教員は外のトイレを生徒と共有する ・なるべく我慢して使わないようにしている ・生徒用トイレはアジア式、教員用トイレは洋式がいいと思う
3. 教員室	X	・教員室は教頭室と共有 ・3部制でいつも教室では授業が行われているので、ノートチェックなどの作業は家に持ち帰って行う。 ・教室内に棚があり、そこに私物や教材、ノートなどを保管 ・教室内のフックを生徒と共有し、コートなどをかけている
通学状況:	・通学時間:全員徒歩で5~10分 ・同ホロから5番校、39番校に行く生徒あり(教育の質がいい、10年制の学校だから、体育館があるから)	X
治安:	・酔っ払い、野良犬が怖い。 ・遅くなったら親、兄弟に迎えに来てもらう ・新入生は道迷いやすい	・食糧市場が近いので危ない。 ・特にレイプの危険があるので、女子にとっては危ない ・市場で遅くまで働いているので、迎えに来られない保護者も多い
その他:	・他の学校の施設がうらやましい ・61番学校が大好き(理由:先生が優しいから、生徒のことをよくみてるから) ・5年生以上も同じ学校で勉強を続けたい	・体育館、会議ホールなどがなくて、子どもの文化的・身体的発達が遅れている ・3部制になったので、今年から体育は時間割からなくなった ・施設は全て老朽化している ・5年のあと生徒はこのままこの学校にいたいという希望がある。慣れていない他校に移るのは大変だし、バスもないので長距離歩いて他の学校に通わなくては行けない ・水道がないので、教員と生徒は水を持参する

学校名:	No. 68 School	地区:	ハヤズルフ
校長:	Ms. SUVDAА	所属ホ:	第8ホ
学区(ホ):	第8ホ、第10ホ、第12ホ(各50%)		



生徒数:	1285	キャパシティ:	440	設立年度:	1977
教員数:	56	職員数:	22	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	35
教室数:	14+4	1教室当り生徒数:	—		
シフト数:	3&2	規定授業コマ数をこなせているか? :	いる		
授業時間:	1部: 8:00-11:40 (1-②, 3-②, 4-③) 2部: 11:45-15:25 (1-③, 2-②, 3-①) 3部: 15:30-19:30 (2-②, 4-①)				
	1部: 8:00-12:30 (8-③, 9-③, 10-③) 2部: 13:00-18:30 (5-④, 6-③, 7-④)				
施設状況:	・小学生は3部制、中学生は2部制 ・ロビー、家庭科室などを教室に転用 ・90番校(4年制、生徒数:50人)が分校になる計画あり				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	150	140	128	129	142	121	139	114	108	113
クラス/担任数	5	4	3	3	4	3	4	3	3	3
越境通学者	2	1	3	3	4	2	3	0	3	0
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	6	6	1	8	5	6	7	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	770	884	1,013	1,153	1,284
クラス数:	26	28	30	32	35
教員数:	35	39	45	50	56

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
1.3%	30.0%	53.3%	15.3%

準備コース:	あり
入学制限:	・入りきらない時は隣の53番校に行ってもら ・余裕があった時、学区外からの生徒を受け入れる

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	50%(貧困のため進学できない生徒多数)		

【教員】

教員数:	56
女性教員:	51
男性教員:	5

	有資格	無資格	計
クラス担任:	35	0	35
教科担任:	20	1	21
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	5名
平均応募倍率:	—

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	30人	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	82%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	29,500Tg(小)、35,000Tg(中高)			1 数学	1~3年、7年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材			2	
				3	
備考:	・数学の特別クラスには追加で英語とコンピューターの授業もある ・学費は分割払い可能			4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2000年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	
メンバー:	9名:保護者(2)、教員(2)、生徒(1)、区役所(3)、市教育局(1)	・清掃員5名が共用スペースを清掃 ・教室清掃は生徒が毎日各シフト終了後に実施 ・教室の清掃用具は保護者から徴収(その他の用具は学校の予算で賄う)	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	【施設改修等】	
保護者会:	全体+各クラス	・校長が着任前は水の配管もトイレもなかったが、近くの井戸から引き込んだ ・家庭科用の木造建物は全く使用されていない。改修予算の目途立たない	
ミーティングの頻度:	—		

【通学状況】

生徒:	学区内だと徒歩で遠くても15分くらい
教員:	ケル集落の居住者多い。一番遠い教員は市の東側からバスを二本乗り継いで通勤する
通学状況:	・第8ホは92番校(50%)と68番校(50%) ・第10ホは68番校に半分。 ・第12ホは半分が27番校、半分が68番校に行く。
学区外通学(理由):	10%(特別クラス、教育の質が高いから)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: 全体ミーティング: 毎月、授業終了後に実施 学年別: 2週間に1回
地域住民・企業による施設利用の有無: なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	去年まで	生徒数:	—
実施主体:	ワールドビジョン、ADRA	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	今年は教室不足で開けない		

施設利用料の徴収:	—
------------------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・区から選ばれた国会議員: 100万Tgでトイレと配管の改修

他ドナー・NGOによる協力: ・日本の学校と姉妹校になり、服、ノート、鉛筆などをもらった ・現在ワールドビジョンに木造施設の改修申請中(予算400万Tg) ・今年中に実施されるか決定

【周辺地域状況】

周辺校:	92番校(約1km)、53番校(800m)	幼稚園:	1	未就学児童:	—
生活状況:	・軍事地帯に属しているので、軍人の家庭が多い ・生活レベルが低い ・軍人は定年が早く、失業者も多い		未就学理由:	—	
人口状況:	地方からの流入(親族が地方からたくさん出てくる) 3つともゲル集落で町のはずれにあるので人口急増	治安:	・それほどよくない ・保護者の半分は迎えに来る		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースがなくてフックがつけられないため、コートなどは椅子の背にかけている ・生徒が増えていて、3人掛け多い ・椅子が足りなくて、立って授業を受ける生徒がいる ・3人掛けだとノートをとるのが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室は過密 ・3人掛け ・今年はクラスを増設してもまだ過密の状態 ・電気設備がよくないため、夜は暗くて大変 ・教室の暗さは生徒の視力にも悪影響を与えている ・窓がない教室がある ・以前はクローゼットがあったが、今は教室として使用している ・背の低い生徒は立って授業を受ける ・試験の時はスペースが足りなくて、廊下で受ける生徒もいる
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間が短く、利用人数が多いので、ほとんど使用できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用トイレなし。生徒と共有。 ・生徒用トイレはアジア式の方がいい(ゲル集落の子どもたちは洋式トイレに慣れていないため、上に乗って踏んだりするため便座がすぐになれてしまう)
3. 教員室	X	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい ・授業の準備などは教員室ですることではできないので、自宅でする
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・普通クラスは殆どが学区内からの通学(68番校が一番家から近いので通っている) ・通学時間: 徒歩10~15分、最大通学時間: バス20分(学区外通学) ・住んでいるホロに未就学児童いる 	X
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・3部制だと帰り道怖い(ゲル集落は野良犬が多い) ・冬は保護者に迎えに来てもらう(3年生) 	—
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館は小さすぎる。バスケなどは待ち時間ばかり。 ・春と秋は屋外で体育の授業を受けるが、ゴールポストが盗まれて設備が何もない ・本計画1次対象校(92番校)が近くにある。近くまで見に行ったらすごくきれいだったので転校したいと思った(だけど今の学校に慣れているから転校はしなかった) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館は狭いので、よく骨折などの事故がおこる ・体育館は換気扇がないので、空気が悪い ・体育の時間に体操着を着替える場所がない ・もし68番校に新校舎ができれば他校から移ってくる生徒がいるはず。転校するためには両親の推薦をうけたうえで、試験をうけてもらう(校長)

学校名:	No. 73 School	地区:	ハヤコグ
校長:	Mr. Dorgotov	所属ホ:	第3ホ
学区(ホ):	第1ホ(1部)、第3ホ		



生徒数:	1404	キャパシティ:	480	設立年度:	1953
教員数:	56	職員数:	14	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	39
教室数:	15	1教室当り生徒数:	—		
シフト数:	3&2部制	規定授業コマ数をこなしているか? :	いる		
授業時間:	1部: 8:00-11:40 (2-②, 4-④) 2部: 11:45-15:25 (1-④, 2-②, 3-①) 3部: 15:30-19:30 (3-③) 1部: 8:00-12:30 (7-①, 8-⑤, 9-③, 10-③) 2部: 13:00-17:30 (5-④, 6-④, 7-③, 2-①)				
施設状況:	・元はロシアの鉄道会社の子どものためにつくられたが、1998年から地域の子どもの受け入れが始まった ・1-4年は3部制、5年以上は2部制 ・教室が足りないのので、寮で授業を実施				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	133	158	119	115	154	161	171	175	105	113
クラス/担任数	4	4	4	4	4	4	4	5	3	3
越境通学者	9	7	8	5	5	4	7	3	1	1
退学者数:	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,184	1,289	1,384	1,405	1,415
クラス数:	35	36	38	38	39
教員数:	47	49	52	55	56

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
4.5%	39.8%	52.6%	3.0%

準備コース:	—
入学制限:	・収容力が小さく過密なので、学区外の生徒の入学は断っている

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	90% (国立の大学への進学が多い)		

【教員】

教員数:	56
女性教員:	45
男性教員:	11

	有資格	無資格	計
クラス担任:	39	0	39
教科担任:	17	0	17
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	0人
平均応募倍率:	—

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	25-30人	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	20,000Tg~ 40,000Tg(学年によって異なる)			1 数学	1-10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与(20%) 設備・教材 大会参加費、コピー代など			2 体育	8、10年 各1クラス
備考:	・自動的に進級するわけではなく、生徒の入れ替えあり			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2002年改称)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	
メンバー:	9名: 保護者(2)、教員(1)、生徒(1)、区役所&市役所(4)、職員(1)	・清掃員が共用スペースを清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒が毎日2回実施+週末大掃除	
保護者会:	全体+各クラス	・教室の清掃用具は生徒の持ち寄り	
ミーティングの頻度:	—	【施設改修等】	

【通学状況】

生徒:	平均通学時間: 10~15分
教員:	60%が第3ホに居住
通学状況:	寮生240人(国鉄従業員の子ども)
学区外通学(理由):	いない

職員住宅:	なし
学生寮:	あり

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
—
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・国鉄: 寮生の食事などに対する援助 ・その他: 物資援助(工事用のペンキ、大会に優勝した生徒への賞品など)

他団体・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・ADRA: 貧困家庭の生徒に対する服・食事などの援助 ・韓国の病院: コンピューター数台 ・日本: ノートなど

【周辺地域状況】

周辺校:	6番学校(800m/別の地区)、20番学校(1400m)	幼稚園:	2	未就学児童	約20人(うち女子は3~4人)
生活状況:	・アパートで中小企業が約170ある			未就学理由	・貧困でノート、鉛筆、服などを買うお金がない ・精神障害
人口状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・ケル集落ほどではないが増加傾向 ・第1ホロで新しい1080世帯用のアパートできる予定(うち3分の1の子が73番校に通学する予定) ・20番校、40番校の周りにもアパートの建設がすすめられ、完成後は人口が増えて第3ホロからの生徒を受け入れてくなくなるかもしれない 		治安:	駅、バス停、食品市場から近く、泥棒や酔っ払いが多いので治安はそれほどよくない	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・一時は教室が足りなくてロビーで授業をした ・寮を授業をしているが、狭い ・空気が悪くて息苦しい(特に午後) ・机と椅子の不足状況は教室によって異なるが、3人掛けは多い ・フックがない教室は服を机の中に押し込むので、傷みやすい ・クローゼットは学校の入り口に1つあるほうが、教室でスペースをとらないので便利 ・2階の教室は雨漏りする 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在寮に6つの教室があるが、本当は寮として使用したい ・食堂の1部を転用して教室として使用している ・過密で子ども一人一人に目が行き届かない 	
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアがない ・汚くて臭い ・休憩時間が短いので、トイレに行く時間はない ・洋式はすぐに汚くなるので、アジア式がいい(8年生) ・アジア式は外にはねて汚いから洋式がいい(4年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用トイレ1つ ・生徒用トイレはたくさんの人が利用するのでアジア式の方がいいと思うが、障害者には洋式トイレもあった方がいいと思う 	
3. 教員室	X		
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の第3ホロから20番校、51番校に行っている子もいる ・親が鉄道会社に勤めているので寮に入っている ・平均通学時間: 徒歩5-10分 	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・9時に授業が終わることもあるので、冬はきつい ・遅くなると保護者に迎えに来てもらう(4年生) ・道に接しているから危ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯がないので、暗くて危ない ・マンホール・チャイルドレンは中高生に乱暴することがある 	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の選択理由: 家から近い、数学の特別クラス、相撲が好き ・クラブ活動のために土日に登校する ・体育の特別クラスは2クラス合同で実施するので過密が激しい ・雨や雪が降ると、外はぬかるんで歩きにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウランバートル市内では寮がある学校は73番校のみ ・寮生は週末自宅に帰宅する生徒が多く、最終列車に間に合うため、金曜日の3部シフトの授業にでない ・クラブ活動は土日に行う(舞踊、音楽、バレーボール、バスケットボール、絵、縫物など) ・教員が授業中に才能のある子を選抜する ・体育の特別クラスは全国大会優勝するほど優秀だが、2、3クラス合同で授業を実施したり、マットなどの道具を置く部屋もなく、環境が悪い 	

学校名:	No. 79 School	地区:	ハヤズルフ
校長:	CHIMEDT SEREN	所属ホ:	第17ホ
学区(ホ):	第9ホ、第17ホ		



生徒数:	2400	キャパシティ:	480	設立年度:	1953
教員数:	82	職員数:	36	設置学年:	1-10年
校舎数:	2	分校:	なし	クラス数:	65
教室数:	26+8	1教室当り生徒数:	55-65人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部: 8:00-12:40 (3-8, 4-7, 5-6, 6-7, 7-6) 2部: 13:00-17:40 (1-9, 2-9, 8-7, 9-3, 10-3) 3部:				
施設状況:	・校舎は小学生用と中学・高校生用の2つに分かれている。小学生用校舎は1キロほど離れてあり、元は幼稚園だったのが'92年に転用された ・中高生用校舎は障害教育用の特別学校として建設されたので、教室サイズが小さい ・普通教室数26教室のうち、1教室は特別学級用				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	305	315	240	251	279	309	274	237	117	117
クラス/担任数	9	9	8	7	6	7	6	7	3	3
越境通学者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,930	1,980	2,130	2,300	2,435
クラス数:	59	61	62	63	64
教員数:	70	71	72	79	82

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
7.5%	54.8%	36.1%	1.6%

準備コース:	一ヶ月
入学制限:	準備コースがあるので、試験は実施していないが、地方から移動してきた子に対しては面接を実施。所属ホからの入学希望には制限無し

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	65~70%
大学進学	80% (国立と私立半々)		

【教員】

教員数:	82
女性教員:	76
男性教員:	6

	有資格	無資格	計
クラス担任:	65	0	65
教科担任:	17	0	17
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	6人
平均応募倍率:	約2.5倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	30~35人	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	70%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	30,000Tg			1 数学	5-10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与(80%)、教材			2 化学	7,8年 各1クラス
備考:	片親の家庭、貧困家庭の生徒に対しては学費を免除する			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2001年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	
メンバー:	9名: 保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所(1)、市教育局(4)、教育省(1)、卒業生(1)	・清掃員7名が共用スペースと小学生教室を清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・中高の教室清掃は生徒が毎日2回実施	
保護者会:	全体+各クラス	・教室の清掃用具は小学生は保護者と学校の予算、中高生は保護者負担	
ミーティングの頻度:	年2回	・水がないので、掃除の時毎日近くの井戸から水を買う(生徒負担)	
		・教室以外の清掃用具、教室以外掃除の際の水の購入は学校予算	
		【施設改修等】	
		・各教室の改修は夏休みの間に、保護者の支援を得て実施する	
		・各保護者には400Tgの寄付をお願いし、寄付+学校予算で費用を負担	
		・大規模改修は来年ADBによって実施される	
		・区役所による大規模改修の対象には選ばれたことがない	

【通学状況】

生徒:	平均通学時間:20分、最大通学時間:徒歩40分
教員:	殆どが学校周辺に居住
通学状況:	
学区外通学(理由):	0%

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:	
全体ミーティング:毎週月曜日、一番大きな教室で昼休みに実施 教科別ミーティング:2週間に1度、授業後に実施	
地域住民・企業による施設利用の有無:	
なし	

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	20
実施主体:	ワールドビジョン(教員派遣)	クラス数:	2
実施対象:	8,10年卒業生を対象にした職業訓練		
時間帯:	9:00-17:00(1ヶ月&通年)、PCを転用した教室使用		
備考:	同時に未就学児童25人(8歳~18歳)と勉強についていけない在学生25人を対象に夏期2ヶ月間コースをワールドビジョンが実施している		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
・卒業生:労働提供(植栽、小学校の歩道作り、卒業する教室のペンキ塗り替え、家具修理/調達など)
資金援助はほとんどない

他ドナー・NGOによる協力:
・ADB(来年):1400万Tgで校舎改修(屋内トイレ設置、水道設置、家具調達、壁のペンキ塗り替えなど)

【周辺地域状況】

周辺校:	92番校(3~4km)	幼稚園:	1	未就学児童	15-20人(殆ど男子)
生活状況:	・ケル集落 ・生活レベル低い ・失業率60% ・近くの車のマーケットでタバコを売ったり、洗車で生計をたてる		未就学理由	家畜の世話	
人口状況:	地方からの流入が激しい	治安:	それほどよくない		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・1教室55~60人。頭痛がする(4年生&8年生) ・4人掛けもあり、ノートがとれない(4年生) ・暖房がきかず寒いので冬はコートを着たまま授業をうける ・うるさくて先生の声が聞こえない ・クローゼットもなく、教室にフックも殆どないので、コートは机の中に入れてたり、窓際におく ・教室内のフックは男子が自分達で作った(8年生) ・学級のサイズが大きすぎて、先生とコミュニケーションがとれない、勉強に参加できない ・混雑してやる気をだすのが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・過密すぎで、全ての子どもを勉強に参加させるのが難しい ・ノートをとらず、座っているだけの生徒もいる(そういう生徒を進級、進学、就職させるのは困難) ・教室に60人もいると、病気が蔓延しやすい ・元々幼稚園校舎だったり、特別学級用の校舎なので教室のサイズが小さくて狭い 	
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・水がない屋外のトイレ。小学校用校舎は屋内トイレ無し(4年生) ・冬は氷がはって危険。冬は使わず我慢する(4年生) ・座れるから洋式トイレがいい(4年生) ・朝、あまり水分をとらないようにする ・トイレはドアがなく隣が見えてしまうので、あまり使わない(8年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外のトイレを生徒と共有する、我慢しあまり利用しない ・生徒用トイレは多くの生徒が使用するので、アジア式のトイレがよい ・教員用トイレは洋式がいい(高齢の教員や、太った教員にとってしゃがむのが大変だから) 	
3. 教員室	X		
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時間:5~10分 ・普通クラスの中で学区外の村から通学しているのは殆どいない 	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・川は冬には凍って危ない ・授業が終わるのが遅くなると帰りのバスがあまりない ・酔っ払いやホームレスがいる 	—	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・体育のクラスを50人~60人でやるのは難しい ・補習や大掃除のため土曜日に登校することもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動や補習のため土曜日でも学校に通勤する 	

学校名:	No. 87 School	地区:	ハヤズルフ
校長:	Ms. ERDENCHIMEG	所属ホ:	第10ホ
学区(ホ):	第10ホ		



生徒数:	1396	キャンティ:		設立年度:	1990
教員数:	48	職員数:	24	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	40
教室数:	19+2	1教室当り生徒数:	42~45人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか? :	いる		
授業時間:	1部: 8:00-13:30 (6-⑤, 7-⑤, 8-④, 9-③, 10-③) 2部: 13:30-17:30 (1-⑤, 2-④, 3-③, 4-③, 5-⑤) 3部:				
施設状況:	<ul style="list-style-type: none"> 元は軍事施設だったのでもらい受けた クラスを10月から2クラス増設する可能性あり コンピューター室、会議室、家庭科室などを教室へ転用 				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	160	150	128	126	160	173	164	144	97	94
クラス/担任数	5	4	3	3	5	5	5	4	3	3
越境通学者	0	0	0	0	0	5	7	6	14	0
退学者数:	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	799	859	970	1,022	1,169
クラス数:	28	30	31	32	34
教員数:	37	37	41	44	44

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
3.1%	31.3%	59.4%	6.3%

準備コース:	春学期の3ヶ月(3年生を3部に移して、昼に実施)、4クラス
入学制限:	今年は入学制限なし

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	75%
大学進学	60% (殆ど市内の大学へ進学)		

【教員】

教員数:	48
女性教員:	43
男性教員:	5

	有資格	無資格	計
クラス担任:	40	0	40
教科担任:	8	0	8
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	10人
平均応募倍率:	—

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	25~30人	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	—	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	今年から徴収予定だが、額は未定			1 数学	1,5,6,7年 各1クラス
学費使途:	—			2 コンピューター、外国語	2年 1クラス
備考:	—			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2002年11月設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	3ヶ月に1回	【清掃】	
メンバー:	11名: 保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所&市役所&教育省(4)、職員(2)	・清掃員が共用スペースを清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒が毎日実施+毎週金曜日大掃除	
		・洗剤とせっけんのみ生徒もちより、それ以外の清掃用具は学校予算で配備	
		【施設改修等】	
保護者会:	全体+各クラス		
ミーティングの頻度:	3ヶ月に1回		

【通学状況】

生徒:	平均通学時間: 10分
教員:	56世帯が校舎から1キロ離れた教員住宅に住む(軍事施設と一緒にもらいうけ) 教員住宅は長く勤めてもらえるように若い教員優先
通学状況:	遠距離の子は3キロ離れたところから徒歩で登校(3部制にはできない)
学区外通学(理由):	

職員住宅:	あり
学生寮:	なし

学校名:	No. 97 School	地区:	バヤンソルフ
校長:	Mr. ALTANGEREL	所属ホロ:	第7ホロ
学区(ホロ):	第2ホロ(1部)、第4ホロ、第7ホロ		



生徒数:	2450	キャパシティ:	920	設立年度:	1992
教員数:	74	職員数:	38	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	54
教室数:	24+6	1教室当り生徒数:	55人(小)、60以上(高)		
ソフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部:8:00-12:30 (1-2)、2-3、3-3、4-3、7-1、8-7、9-4、10-4) 2部:13:00-18:00 (1-3、2-3、3-3、4-2、5-5、6-6、7-5) 3部:				
施設状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・1974年にロシア人のための学校として建てられたが、92年に97番学校になった ・ロビーなどを転用 ・10月1日からは3部制にすることを検討中 				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	198	231	25	237	278	269	315	243	172	207
クラス/担任数	5	5	6	6	5	6	6	7	4	4
越境通学者	10	21	10	30	23	21	18	30	19	27
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	2,051	2,070	2,350	2,403	2,473
クラス数:	52	56	57	57	56
教員数:	74	73	78	80	82

【新生生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
4.5%	15.2%	60.6%	19.7%

準備コース:	一ヶ月(4月)
入学制限:	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者のうち100人が地方からの流入 ・所属ホロ外の7歳児30人を断った(8歳児を優先)

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	80% (内半分が国立へ進学)		

【教員】

教員数:	74
女性教員:	62
男性教員:	14

	有資格	無資格	計
クラス担任:	54	0	54
教科担任:	20	0	20
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	5人
平均応募倍率:	4倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	あり	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	90%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	無料(小)、40,000Tg(5年生以上)			1 数学	1年~10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与(20%) 教材			2 外国語	2年 1クラス
備考:	<ul style="list-style-type: none"> ・特別クラスの生徒も全員所属ホロ ・外国語特別クラスは生徒も教員もいるが、現在教室不足で再開できない 			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2001年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	毎月	【清掃】	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃員18名が共用スペースと1年生教室を清掃 ・2年生以上の教室清掃は生徒が毎日2回実施 ・教室の清掃用具は生徒の持ち寄り(その他の用具は学校の予算で賄う)
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所(1)、市教育局(1)、教育省(1)、教頭(1)	【施設改修等】	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室の改修は教員が中心となって、生徒と保護者が実施に協力する ・各保護者から2000~5000Tg徴収(各クラス3人くらいは払えない生徒がいる) ・お金持ちの生徒はいないので、教室の状態には格差は生じない ・10周年記念の省特別改修予算で雨漏りの修理とトイレの設置(2003年7月) ・窓ガラスは区役所から毎年20枚現物支給される
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員		
保護者会:	全体+各クラス		
ミーティングの頻度:	年2回+年4回(+問題が生じた時)		

【通学状況】

生徒:	平均通学時間:30分、最大通学時間:60分
教員:	周辺に居住している教員はあまりいない(ゲル集落に住む教員:30%)
通学状況:	バス通学者も多い
学区外通学(理由):	30%(特別クラス、教育レベルが高い)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
2週間に1度、昼休みに一番大きな教室で実施。
<ul style="list-style-type: none"> * その他、他の学校では実施していない取り組みとして、毎月2回教員訓練を行っている。勉強したい内容を教員ミーティングで相談し、内容にあった講師をソロス基金や大学から招く。費用は教員や保護者からの寄付で賄っている。 ・実施時間: 授業後、土曜日、冬休み ・機材: ワールドビジョンから借りている
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	100
実施主体:	区役所&ワールドビジョン	クラス数:	4
実施対象:	午前: 13歳以上、休学中の子ども 午後: 全く読み書きができない小さな子		
時間帯:	8:00-14:30, 15:00-17:00(10月~6月の通年、4年間)		
備考:	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドビジョンの援助でロビーから改修した1教室を使用 ・教員は区役所教育センターから派遣 ・4年生を修了すると97番学校に編入 		

施設利用料の徴収:	—
------------------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校なので、卒業生はまだあまりいない ・卒業生から資金援助は少ないが、様々な形で援助はある(例: TV局に勤める卒業生が、番組で学校のことを紹介した) ・10周年記念に生活レベルの高い保護者が集まって約30万Tg寄付(スポーツホールとロビーの改修、カーテン)

他ドナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・ソロス基金: 教員研修 ・ワールドビジョン: 教員研修(教授法、他校で行っているサマースクールに参加)

【周辺地域状況】

周辺校:	33番校(1.5km)、69番校(3km/30分)	幼稚園:	3	未就学児童:	40~50人
生活状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・第2ホロ---軍隊用アパート、貧困家庭多い ・第4ホロ---団地+ケル、貧困家庭多い ・第7ホロ---団地、教員など生活レベル高め 			未就学理由:	・貧困 ・家計を助けるため労働
人口状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・元々住んでいたロシア人が撤退し、若い家族が入ったので子どもの数が急増中(第7ホロが最も人口増加激しい) ・第2ホロと第4ホロには地方からの流入がはげしい 	治安:	問題あり(酔っ払い、いじめっ子、誘拐など)		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・1教室あたり生徒数: 39~50人。5年生には72人クラスがある。 ・空気が悪い(ドアを開けるとうるさいし、冬は窓は開けられない) ・教室内のフックを利用してコートをかけるが、足りないの机の中に入れてたり、窓際に置く 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の男子にとって3人掛けは非常に困難 ・過密がはげしく、身体への影響が心配 ・生徒一人一人に目が行き届かない 	
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・汚い、くさい、匂いが身体につく ・ドアなし、鍵なし ・我慢して使わないようにしている ・水は流れるが、掃除用や手洗い用の水がない ・ウェットティッシュはお金持ちの生徒だけ。 ・のどが渇いてもトイレに行きたくならないよう我慢する ・アジア式のトイレがいい(洋式は便座の上に土足で立つ人がいるのですぐに汚くなるから) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用のトイレはあるが壊れていて92年以来閉まったまま ・改修するお金がない ・3年前生徒用のトイレを改修 ・教員は我慢して殆どトイレは使用しない ・生徒用トイレはアジア式がいい(洋式は低学年にとって便座の位置が高すぎる、汚い、洋式便座の上に土足ですぐに壊れる) ・教員はきれいに使えるので洋式の方がいい 	
3. 教員室	X		
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・居住ホロは様々、学区外通学多い ・学校の選択理由: 兄弟が通学している、家から近い ・通学時間: 5-10分 	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・怖い(街灯なし、酔っ払い、野良犬、マンホール・チルドレン) ・お金やカバンをとる10年生のいじめっ子がいる ・大きな道路 ・暗くなると迎えに来てもらうこともあるが、普段は友達と下校す 	<ul style="list-style-type: none"> ・酔っ払いや交通量の多さ ・お金や物をとるいじめっ子がいる ・去年誘拐事件あり(1件) ・遅くなったら教員が送っていくことあり(高校生も含めて) 	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語用の特別教室がないので、普通教室で一斉授業する ・休み時間に行くところがないので、ロビーに椅子をおいてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の中には、放課後お金を払って教員に個人教授をお願いする人がいる 	

学校名:	Borovsrol C. S.	地区:	バガノール
校長:	Ishiin Bayambajav	所属校:	第1校
学区(校):	バガノール地区全体(6つの校)		



生徒数:	6410	キャパシティ:	—	設立年度:	—
教員数:	241	職員数:	90	設置学年:	1-10年
校舎数:	4	分校:	あり(第4校舎)	クラス数:	177
教室数:	(24+4)	1教室当り生徒数:	—		
シフト数:	(3部制)	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間: (第1校舎)	1部:7:30-11:30 (4-⑪, 3-⑫) 2部:11:30-15:30 (1-③, 2-⑨, 3-⑦) 3部:				
施設状況:	<ul style="list-style-type: none"> 校舎は4つあるが、内1つは18km離れている(4年制) 小学校は全て第1校舎(第2,3校舎は中高生用)。1年生を収容しきれず幼稚園として使用されているアパート8教室を借りて2部制で授業を行っている(月約120万Tgのコスト) 本計画により施設が増築されれば、アパートを本来の幼稚園に 				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	630	640	674	695	760	758	687	656	460	450
クラス/担任数	19	20	19	17	19	19	20	18	12	14
越境通学者	420									
退学者数:	12	4	7	5	8	4	3	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	4,998	5,298	5,794	6,161	6,328
クラス数:	140	149	159	169	175
教員数:	180	186	199	208	227

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
1.0%	19.4%	77.3%	2.4%

準備コース:	3ヶ月
入学制限:	—

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	90% (約半分が国立大へ進学)		

【教員】

教員数:	241
女性教員:	205
男性教員:	36

	有資格	無資格	計
クラス担任:	177	0	177
教科担任:	64	0	64
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	12人
平均応募倍率:	—

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	—	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	90%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	18,000~20,000Tg			1 数学	8年~10年 各2クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材・設備			2 外国語(露、英)	8年~10年 各1クラス
備考:	<ul style="list-style-type: none"> 今後は小学生にも特別クラスを設けたい 学費は払えない生徒には免除している 			3 化学	8年~10年 各1クラス
				4 体育	7年、8年 各1クラス
				5 社会学	9年、10年 各1クラス

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり [2002年設立]	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年最低2回+必要に応じて	【清掃】	
メンバー:	11名:保護者(1)、教員(5)、地域住民(1)、教育組織(1)、教育センター(1)、警察(1)、工場(1)	・清掃員(27人)が共用スペースと1年生教室を清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・2年生以上の教室清掃は生徒が毎日実施+毎週大掃除	
保護者会:	全体+各クラス	・教室の清掃用具は学校の予算+不足分を保護者負担	
ミーティングの頻度:	毎月	【施設改修等】	
		・大規模修繕は5年前にADBの支援を受けて第1、第2校舎の改修を実施(配管、ロビー、体育館など合計450万Tg)	
		・区役所:ロビー、電気、体育館 (計150万Tg)	
		・窓ガラスが破損した場合:授業中だったら教員が、夜間だったら管理人が責任を持つ	

【通学状況】

生徒:	平均通学時間5~30分
教員:	全員バガノール地区から
通学状況:	遠距離通学の生徒多い(ケル集落の生徒)、但し住民票がある人のみ通学できる
学区外通学(理由):	420人(理由:教育レベルが高いため)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
授業の後に実施している
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【非・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣企業: 大会参加のサポート、コンピューター教室 資金援助ではなく、物質援助多い ・炭鉱工場: 大会参加費 ・軍: 第3校舎への物資援助

他ドナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の個人: 貧困家庭の生徒に対する援助 ・ADB(5年前から): 包括的な支援 第1、第2校舎の改修(配管、ロビー)

【周辺地域状況】

周辺校:	—	幼稚園:	5	未就学児童	ハガノル地区全体で約44人
生活状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・3/1がケル人口 ・失業者多い ・炭鉱の町 ・人口の70~80%が貧困者 			未就学理由	<ul style="list-style-type: none"> ・住民票の問題 ・家庭状況
人口状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・人口2.4万(うち1/3が0~16歳) ・人口急増中 ・雪害で家畜を手放して、地方から移動してくる 	治安:			

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・40人を超えているクラスが殆どで50人のクラスもある ・教室は机と椅子が不足 ・2部制で交代時間が短いため、混雑して大変 ・クローキームは以前はあったが今は各教室にある。各教室についていた方が便利(4年生) ・クローキームを利用するが、服が他の人のものと代わってしまったり、紛失したりする(8年生) ・冬の教室は空気が悪く、意識を失う生徒がいる(寒くて窓が開けられないから、過密) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室が小さく、クローキームがスペースをとるので、レイアウトが難しい(机をまるく並べたりできない) ・蛇口はある教室とない教室がある ・クローキームは各教室にある方が間違いが起こりにくい ・換気が悪く、風邪や伝染病がはやりにくい
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・汚い ・使用しにくい、使用したくない ・蛇口は清掃係が持っているため、普段は水を出せない ・たくさんの生徒が利用するためアジア式のトイレがいい(8年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用トイレはないので、我慢して使用しない
3. 教員室	X	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室は自分の決まった席はなく、ノートなどは自宅に持って帰って作業をするか、教室に保管する。 ・本来なら回収したノートなどは教員室に、教材などは各教室に保管するのが望ましい
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・教育レベルが高いので地方からたくさんの生徒が来る ・殆どが徒歩通学だが、ケル集落からはバスで通学する ・自転車で通学する生徒もいる ・家庭の状況で学校をやめる生徒が多い。特に多いのが、住民票を移す時に問題が発生した場合。 	X
治安:	—	—
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・クローキームがあるが、コートが紛失してしまうことがある(8年生) ・クラブ活動ができない ・体育館は体育の授業を2,3クラス合同で実施するため狭い ・体育館は換気が悪く、走ると息苦しくなる。意識を失う生徒いる。 ・第1校舎は小学生の保護者の送り迎えでいつも混んでいる ・土曜日も授業がある ・今年から1年~6年で制服が導入された 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日に授業がある ・体育館は一回に100人以上が使用する。非常に狭い ・本来生徒は18時以降は学校にはいけないという規則があるが、授業が遅くまであるので規則を守るのが困難 ・ケル集落から通学する生徒は遠距離のため遅刻も多い。彼らが到着するまで新しいことを教え始めないようにしているの、授業の進行状況に影響がある

学校名:	Goromt Complex School	地区:	ナライハ
校長:	Ms. ALTANTSETSEG	所属和:	第2和
学区(和):	ナライハ地区の和(6つ)		

生徒数:	5573	キャンシティ:	—	設立年度:	—
教員数:	176	職員数:	87	設置学年:	1-10年
校舎数:	6	分校:	あり(テルジ)	クラス数:	137
教室数:	58	1教室当り生徒数:	約40人		
シフト数:	2または3	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部:第1,2校舎 8:00-11:30 / 第3,4校舎 8:00-11:40 / 第5校舎 8:00-12:30 2部:第1,2校舎 11:50-15:10 / 第3,4校舎 11:10-14:40 / 第5校舎 13:00-17:30 3部:第1,2校舎 15:20-19:00 / 第3,4校舎 15:00-18:30				
施設状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・分校(第6校舎)は40km離れたテルジにある(3年制、生徒40人) ・第3、第4校舎が小学校校舎、第1、2、5校舎は中高校舎 ・第1～第4校舎は3部制、第5校舎は2部制 ・もし本計画で校舎が増築されれば、1～8年生の収容希望 				



*テルジの分校の生徒は3年生を修了したら、寮に入る。

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	573	492	531	579	630	635	559	859	334	361
クラス/担任数	16	15	13	13	80					
越境通学者	45	13	25	25	36	34	28	41	10	12
退学者数:	-	4	5	6	4	2	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	4,535	4,780	4,882	5,079	5,215
クラス数:	130	132	133	135	137
教員数:	163	168	170	173	176

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
5.1%	48.5%	40.3%	6.1%

準備コース:	—
入学制限:	—

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	60-70%
大学進学	80% (国立+私立)		

【教員】

教員数:	176
女性教員:	151
男性教員:	25

	有資格	無資格	計
クラス担任:	137	0	137
教科担任:	39	0	39
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	6人
平均応募倍率:	—

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	25~32人	設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	25,000~30,000Tg			1 数学	1年~10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材・設備			2 外国語	1年~10年 各1クラス
備考:	<ul style="list-style-type: none"> ・成績優秀者、貧困家庭の生徒は学費を一部免除 ・1度特別クラスに入れば自動的に進級 			3 体育	1クラス
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2002年設立)	施設メンテナンスの実施状況:
ミーティング:	年1~3回+問題が発生するたび	【清掃】
メンバー:	11名:保護者(1)、教員(4)、生徒(1)、区役所(4)、職員(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃員が共用スペースと小学生教室を清掃 ・中高生は毎日授業後に各教室を清掃 ・清掃用具は各教室に配備されている
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	【施設改修等】
保護者会:	全体+各クラス	
ミーティングの頻度:	—	

【通学状況】

生徒:	平均通学時間:平均30分~40分、最大通学時間:トラック30~40分、徒歩60分(7-8km)
教員:	殆どナライハ地区に居住
通学状況:	・20km離れた軍用施設からは約60人の生徒がトラックで通学する(30~40分) (大雪の日は通学不可能)
学区外通学(理由):	理由:近くに学校がないから

職員住宅:	なし
学生寮:	あり

キャパ80人だが寮生90人

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: ・全体ミーティング: 毎週 ・校舎別ミーティング: 毎月 ・授業後に、人数が少ない時は教室で、多いときはホールで行う
地域住民・企業による施設利用の有無: なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・区役所から現金を受け取ってはいけないと指導されているので、寄付用の口座を設けて使用用途も報告する ・地域住民、保護者から物資の援助を受けることがある(書籍、清掃用具など)
--

他ドナー・NGOによる協力: ・ADB(2000): 200万Tgの改修 (第1校舎及び第4校舎のトイレ&庭)
--

【周辺地域状況】

周辺校: 公立は軍事地帯に1校あるのみ(私立2校)	幼稚園: 5	未就学児童 約320人(地区全体)
生活状況: ・ナライハは6つのホロに分かれている ・国営工場が無いので生活レベルは低い ・15~16%は団地で残りはゲル集落 ・遊牧民400~500世帯 ・失業者多く、昔の炭鉱を各自掘り出して、石炭を売って生活。年間20名ほどが事故で死亡する。授業後に掘り出しの手伝いをする生徒もいる。 ・地面が凍り炭坑がくずれにくいため、簡単に掘り出すことができる10月~2月の間は生活はよくなるが、それ以外の生活はかなり厳しい ・縫物工場での勤務、自宅での縫い物、自営小売業などで女性が働いて家	未就学理由 ・住民票の問題 ・病気 ・貧困 ・障害者 男女比は小中学生は男女半々だが、高校生は女子が7割を占める	
人口状況: 区の人口: 2万3000人 人口増加中(理由: 田舎でも町でもない快適な環境、空気がきれい、市の中心からも地方からも移	治安: 特に問題なし	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室 ・1教室あたりの生徒数は39人で特に狭いとは思わない(3年生) ・一階の教室は冬は寒さが厳しく、授業の実施が困難(8年生) ・3部制なので、教室にいたくてもいられない ・あまり寒いと感じたことはない(3年生)		
2. トイレ ・待ち時間が長くて利用しにくい ・男女共有 ・断水の時は使用しにくい ・数が足りない ・利用人数が多いので、アジア式がいい		・教員用トイレは生徒と共有。共有するのは難しい。 ・家が近い教員は、帰って使用することもある ・洋式がいい(アジア式は飛び散って汚くなりやすい)
3. 教員室		・小さくて狭く、拡張の必要がある(ミーティングなどはできない) ・担任の教員は、各教室にモノを保管 ・専用の教室がない教科教員は、ノートなどを回収したときはなるべく早くチェックして返す
通学状況: ・自転車を置く場所がないので、自転車通学はできない ・馬で通学する生徒はいない ・周辺に住んでいる生徒は徒歩5-10分、ゲル集落の生徒は徒歩30-40分かかって通学する ・団地に住んでいる子は基本的に全員幼稚園に行く		
治安: —		・基本的には安全。ただし大雨や大雪の時には授業を早めに終わらせたり、休校にする必要がある
その他: ・クラブ活動ができない ・窓ガラスを割るのは主に外部者。風で割れることもある ・朝のシフトの方がいい(理由: 空気が爽やか、自由時間が多い) ・コンピューターは10台あるが、使用可能なのは5.6台なので、授業に使用することは難しい ・図書室がない		・教育省からは5年生以上には1つのクラスをグループに分けて授業を実施するよう指導されているが、現状では困難 ・クラブ活動はできない(3部制になる以前は行っていた)

学校名:	Mongeni C.S	地区:	パヤンゴル
校長:	Mr.LKHAGVA	所属ホロ:	第18ホロ
学区(ホロ):	特別クラスのみなので、生徒の居住区には制限なし		



生徒数:	1570	キャパシティ:	—	設立年度:	—
教員数:	92	職員数:	18	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	あり	クラス数:	52
教室数:	24	1教室当り生徒数:	25人~35人程度		
シフト数:	3部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部:8:00-12:30 (5-⑤, 6-③, 7-⑤, 8-⑥, 9-⑤, 10-④) 2部:13:00-17:30 (1-⑦, 2-⑧, 3-⑤, 4-③) 3部:				
施設状況:	・幼稚園が付属でついているのでComplex School ・専門学校の寮をMongeni校として改修した				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	194	211	150	108	151	98	200	182	141	116
クラス/担任数	7	8	5	3	5	3	5	6	5	4
越境通学者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	278	421	1,248	1,416	1,510
クラス数:	13	16	48	51	53
教員数:	13	16	75	76	78

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
10.3%	79.9%	9.8%	0.0%

準備コース:	一年間
入学制限:	・入学試験あり(今年は約100名の入学を断った)

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	80%(奨学金を進学する生徒が多い)		

【教員】

教員数:	92
女性教員:	82
男性教員:	10

	有資格	無資格	計
クラス担任:	52	0	52
教科担任:	17	0	17
その他:	23	0	23

2003年度教員増員数:	0
平均応募倍率:	—

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:		設置状況:	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	30~40%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	40,000Tg			1 数学	
学費使途:	特別クラス教員の給与			2 外国語	日、韓、英、中、露
				3 芸術	
備考:	・全ての生徒は特別クラスに属している ・義務教育のカリキュラム+特別カリキュラム			4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2002年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	—	【清掃】	
メンバー:	11名:保護者(1)、教員(1)、生徒(1)、区役所&市役所(7)、指導(1)	・清掃員4名が共用スペースを清掃+庭の清掃係	
役割:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒が毎日各実施	
		・教室の清掃用具は、ほうき等は生徒の持ち寄り(その他の洗剤などは学校の予算で賄う)	
		【施設改修等】	
保護者会:	全体+各クラス		
ミーティングの頻度:	年2回+年4回		

【通学状況】

生徒:	最大通学時間:バス30~40分
教員:	殆どが市内に住み、徒歩かバスで通勤している
通学状況:	生徒の70%はパヤンゴル区
学区外通学(理由):	特別学校であるため、学区の設定がないため、遠距離通学多い

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: —
地域住民・企業による施設利用の有無: なし

【非・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・卒業生からの援助あり
--

他ドナー・NGOによる協力: ・国連:テーブル・椅子(200)

【周辺地域状況】

周辺校: —	幼稚園: 付属あり	未就学児童: —
生活状況: ・第18ホロ		未就学理由: —
人口状況: —	治安: —	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	・一番大きなクラスで41人 ・殆どの教室のサイズは狭く、窓2つだけ	
2. トイレ	・汚い ・休憩時間に殆ど間に合わない	
3. 教員室	X	X
通学状況:	・学校の選択理由: 家から近い、日本語の特別クラスがある、親が日本に関係の深い仕事をしている、親が決めた ・付属の幼稚園からMongeni校へそのままあがる人と、他の幼稚園を修了してからMongeni校へ来る生徒がいる	X
治安:		
その他:	・学校の通常授業の他にも塾として日本センターで日本語を学んでいる(日本語の特別クラスの生徒) ・体育は暖かいうちは屋外でやるが、寒くなると教室で体操や講義のみ ・体育はカリキュラム通りに実施することはできない	・幼稚園は別校舎で12クラス(9:00-17:00)、無料、生徒数: 360人 ・もし本計画で増築されれば、1部制にしてもっと積極的にクラブ活動を行いたい ・体育館がない

学校名:	Iredui Complex School	地区:	ソッキ/ハイラン
校長:	Mr. Dash-Ochir	所属:	
学区(ホ):	第12~17ホ + 北の軍事基地+ゲル集落+ナラダム保養所		

()内は第7校舎のみの数字をあらわす

生徒数:	10700	キャパシティ:	—	設立年度:	—
教員数:	385(30)	職員数:	(10)	設置学年:	1-10年(1-4年)
校舎数:	7	分校:	なし	クラス数:	300(24)
教室数:	150	1教室当り生徒数:	35~40人		
ソフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間: (第7校舎)	1部:8:00-11:30 (3-⑥, 4-⑤, 2-①) 2部:12:30-16:30 (2-④, 1-⑧) 3部:				
施設状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・97年に現在のような複合学校になる ・7つの校舎のうち、小学校校舎は第4、第6、第7校舎 ・第7校舎は幼稚園校舎を利用。本計画で施設が増築されれば、第7校舎を幼稚園校舎に戻す。 				



【就学状況】()内は第7校舎のみの数字をあらわす

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	997(200)	1141(189)	1055(260)	1123(271)	1247	1247	1164	1143	842	827
クラス/担任数	30(8)	33(5)	28(6)	30(5)	32	33	32	31	26	25
越境通学者	76(37)	59(48)	93(73)	87(82)	119	113	98	105	55	63
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	3	-	1	-	10	13	5	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	7278(650)	8163(730)	9015(1017)	10400(920)	10600(900)
クラス数:	265(16)	289(19)	278(24)	280(24)	295(24)
教員数:	334(19)	338(19)	363(30)	378(30)	380(32)

【新入生の入学年齢 (第7校舎)】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
6.0%	19.0%	74.0%	1.0%

準備コース:	あり
入学制限:	<ul style="list-style-type: none"> ・所属ホでも未登録の子どもはホ長からのレターがない限り断る ・所属ホの子どもを優先する

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	79%
大学進学	85-90% (内7割が国立大)		

【教員 (第7校舎)】

教員数:	385 (30)
女性教員:	(28)
男性教員:	(2)

	有資格	無資格	計
クラス担任:	300 (24)	0	300(24)
教科担任:	85(6)	0	85(6)
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	2人
平均応募倍率:	—

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35~40人	設置状況 (第7校舎):	
選考方法:	選考試験実施	回収状況:	約100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	無料(小)、20,000~30,000Tg(中高)			1 数学	1~3年 各2クラス、4年 1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与(20%) 教材			2 美術	1年生に1クラス(4年に一度の募集)
備考:				3 ロシア語	1年生に1クラス(4年に一度の募集)
				4 英語	1,3,4年に各2クラス、2年に1クラス
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2001年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2、3回	【清掃】	<ul style="list-style-type: none"> ・第7校舎に関しては、清掃員が全て清掃 ・他の校舎の教室掃除は、中高生以上は生徒が各自の教室を掃除する 【施設改修等】
メンバー:	11名:保護者(1)、教員(1)、区役所&市役所&教育省(6)、教頭(1)、経理(1)、卒業生(1)		
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員		
保護者会:	各校舎+各クラス		
ミーティングの頻度:	—		

【通学状況】

生徒:	徒歩通学が殆ど
教員:	教員の70%が近隣から通学
通学状況:	居住ホによって通う校舎は決まる(第7校舎は第15ホの50%)
学区外通学(理由):	多い(特別クラス、バス停が近いなど)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング(校舎を超えたミーティング): ・全体ミーティング:2週間に1度、普通教室で授業の後実施 ・学科別ミーティング:他校舎で実施
地域住民・企業による施設利用の有無: ・会議ホール、体育館などの使用 (但し7番校舎では無し)

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	---
実施主体:	モンゴルのNGO	クラス数:	---
実施対象:	-		
時間帯:	-		
備考:	第4校舎でのみ実施		

施設利用料の徴収:	-
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・活動をサポートする企業が校舎別にあり:スカラップなど (第7校舎には2社) ・裕福な保護者による援助(保健室、植樹など) ・保護者による植樹などの労働提供 ・その他現金の寄付は少ないが、展示会の場所の提供などの支援がある
--

他トナー・NGOによる協力: ・UNICEF:第5校舎に対して黒板、テーブル、カメラ、TVの供与 ・ADB('97~'02):包括的支援 教材、コンピューターの調達、機の調達 屋根の改修、配管修理、教員訓練など 第7校舎に対しては屋根、配管の改修(200万Tg)

【周辺地域状況】

周辺校: 12番校(3km) 生活状況: 12番ホロ~17番ホロ---団地+ゲル集落 ・団地は電気、お湯、水道などのインフラが整ってるが、ゲルはインフラが未整備のところもあり生活が厳しい ・ゲル集落は地方からの流入者で定年者、失業者多い ・学区である北の軍事地区も居住地(一戸建て)としての整備が進められている→140世帯中80世帯が移動済 ・第15ホロは350世帯用アパートが3つできる計画がある	幼稚園:	未就学児童: ほとんどいない 未就学理由: -
人口状況: ・都市計画でゲル集落に幹線道路を建設する予定があるので、さらなる流入が予想される ・新しいモスクワ団地(団地内に学校が建設されなければ、Iredui校に収容することに)	治安:	問題あり

【生徒・教員インタビュー】

	生徒(第7校舎)	教員
施設状況: 1. 教室	・3人掛け ・換気が悪く、息苦しく感じることがある ・フックが足りないので、コートは重ねてかけるか床に置く	・光は左側からさすべきなのに、右側からさす教室があり、子どもの視力に悪影響を与えている ・天井が低いので空気が汚れるのが早い ・蛍光灯ではなく、電球なので卒業までに視力が落ちる子どもがいる
2. トイレ	・各教室に付属トイレあり(便座2つ) ・匂いが教室に届くのが嫌 ・男女共有 ・座れるから洋式トイレがいい	・トイレは教室に付属してるので、匂いが広がりやすい ・使用を恥ずかしがる子どもがいる ・教員用トイレはないので、生徒と共有 ・伝染病を予防するためにアジア式のトイレがいい
3. 教員室	X	
通学状況:	X	
治安:	・マンホール・チャドレンに襲われたクラスメートがいる ・ゲル集落は暗いので、保護者が迎えに来ることが多い	・治安に問題があるので、1年生は保護者に迎えにきてもらって、直接子どもを引き渡す。 家が近い子どもは教員が送ることもある
その他:	・幼稚園用会議ホールで体育の授業を実施 ・廊下が狭いので、特に冬に厚着をしている時は通りにくい ・休憩したり遊んだりするところがないので、いつも教室にいる	・廊下は狭く、教員がすれ違うのは難しい ・ゲル通学の子どもの方が遠距離通学だが、朝早く起きて学校に来るので遅刻は少ない。朝食を食べないで来る子どもが多い。 ・子どもいつも教室の中にいるので、他のクラスの子ともや他の教員の顔を知らない